

②学校教育の推進

[担当: 学校教育課]

事業名等	内容等
日常的な読書活動の推進と学校図書館司書の配置	読書活動推進協議会と連携した朝読書や読み聞かせなど読書活動の充実、教科学習での学校図書館の活用 図書館司書の配置: 東小2名、三小・東中〜各1名、第一・二小〜1名で巡回
学習支援員、教育補助員、特別支援教育支援員等の配置	学習支援・補助員: 東小〜5名・二小〜1名・東中〜1名、外国籍児童生徒教育支援員: 東小〜2名・東中〜1名、特別支援教育支援員: 全小中学校〜各1名 理科観察実験アシスタント: 第一・二・三小〜各1名
個に応じた「きめ細やかな授業」の推進と放課後学習活動	児童・生徒の実態に応じた習熟度別少人数指導、学習内容の確実な定着と自ら学び考える力を育成 *小学校「ゆめスクール」・中学校「地域未来塾」の充実
スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの配置	全小中学校を所掌するスクールソーシャルワーカー1名(週3日)・スクールカウンセラー1名(週2日)を配置拠点校: 中学校(週4日勤務)、小学校巡回
国際教育交流事業の実施	*フィンランドピッコラ中学校 生徒派遣(8名程度)、教職員の招聘 *USAジェイムス・マディソン大学教育学部との交流 学部生の教育研修受入: 5名程度(6月中旬2週間程度) 教職員の派遣: 幼・小・中 各1名(10日間程度)
研究開発学校による国際教育の推進(文部科学省指定: 幼・小・中・高の7教育機関)	幼・小・中・高連携のもと国際教育に係る「研究開発学校」事業を実施し、多文化共生社会の中で主体的活躍できる人材を育成 *英語教育推進員の配置: 東中〜1名 *各校英語等加配教員の配置 *ALT〜6名、CIR〜11名、SEA〜4名、JETプログラムコーディネーター〜1名の配置活用 *研究発表会(全国大会)の開催 10月中旬
奨学金助成事業の推進(要件を満たす大学等進学者への助成)	*東川町大学進学奨学金(公立・私立は問わない) 1年次〜海外大学70万円、国内大学・短大・町内専門学校等50万円 2年次以降〜自宅外通学4万円/月、自宅通学1万円/月 *小西健二奨学金(国公立大学等に限定) 一大学〜20万円、短大等〜10万円
GIGAスクール構想等ICT教育の推進	学校内ネットワークの高速化及び児童生徒一人一端末整備 プログラミング教育の充実、ICTを活用した教職員の働き方改革の推進
確かな学力育成支援交付金事業	一定額を交付し、校長裁量で学力向上に向けた取組を実施
学校長寿命化計画の推進	学校の長寿命化個別施設計画を策定、設計、工事 *R2-第三小設計、R3-第三小工事、第二小設計 R4-第二小工事、第一小設計、R5-第一小工事、東中設計、R6-東中工事

③社会教育の推進

[担当: 生涯学習推進課]

事業名等	内容等
学社連携事業の推進	学社連携推進協議会が推進母体となり、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」が車の両輪となり、地域全体で未来を担う子どもたちを育む。
放課後の居場所づくりの推進(東川わくわくプレイスの開設)	学童保育サービスに加え、全ての子どもが放課後や土曜日、夏冬春休みに、ものづくり、体験学習、スポーツなど様々な活動に参加することができる体制を整備し、心身の発達を促す安全・安心な居場所づくりを推進。
食育・水育の推進	体験農園・果樹園等で収穫した米・野菜等を幼・小・中学校の給食や学童保育のおやつとして活用。各小中学校で食育授業を実施。農業生産や生活用水の源「地下水」に関する教材を作成・配布し、授業等で活用。
富山県魚津市越中踊り指導者招聘事業	富山県魚津市から越中踊り指導者を招聘し、越中踊り子ども保存会児童生徒への指導と交流事業を実施
欧州文化首都 国際青少年音楽祭派遣事業(アイルランド)	『シンフォニック・ウェーブスin欧州文化首都ゴールウェイ2020』に中高生を派遣し、音楽文化交流を実施
中学校への部活動指導員の配置	部活動の技術指導や大会への引率等を行う「部活動指導員」(野球・サッカー・剣道・クロカンスキー等)を配置
「ちびっこスポーツクラブ」・「ふぁんすぽ」の実施	小学1・2年生対象「ちびっこスポーツクラブ」、小学3〜6年生対象「ふぁんすぽ」を実施し体力増進と基礎運動能力を育成
地域おこし協力隊事業の活用	「コンサドールU-12東川」の活動支援員と地域交流センター「ゆめりん」の遊びのコーディネーターを配置
スポーツ国際交流員の活用	JETプログラム スポーツ国際交流員(SEA) 4名配置(新規1名卓球)
スポーツ施設等の整備・改築	B&G海洋センターの改修、ゆめ公園(野球場・プレイパーク)、町民運動公園(トイレ・物産庫)を整備

生きる力

— 子ども一人ひとりを理解し、生きる力を育む —



東川町教育委員会

☎071-1493 北海道上川郡東川町東町1丁目15-3 TEL 0166-82-2111 FAX 0166-82-3773



東川町教育委員会

ゆめ公園 体験農園田植え

題字: 鈴木幸恵教諭(東川第一小学校)

教育行政の体系

【基本方針】「ふるさとを愛し、多様性を認め合い、世界とつながり挑戦していくことができる人材の育成」

【重点施策】



令和4年度
目標 日本一の「子育て・教育の町づくり」

はじめに

AI、IoT、ビッグデータ等の情報技術の高度化は社会構造や私たちの生活を変え、教育の質的変革をもたらします。これを教育の質的な向上を目指す絶好の機会と捉え、前向きに取り組んでいく必要があります。

一方、AIやビッグデータが全てではありません。人間の柔軟な発想、創造性、判断力が新たな知と価値の源泉であり、その力を生み出す教育の重要性を再認識する必要があると捉えています。

GIGAスクールネットワーク構想推進(注1)、新学習指導要領の実施、個に応じた指導、学校長寿命化計画の推進、教職員の働き方改革、外国籍児童生徒教育支援、子ども子育て環境の充実、体育・スポーツ環境の整備、東京オリンピック・パラリンピック ホストタウンの対応、彫刻や写真などの文化的価値の高い作品等の文化財指定や保護と活動、女性や中高齢者の学びの機会の充実など多くの課題を着実に実施していく必要があります。

このため、地域・保護者・学校などの連携をより一層密にし、強いパートナーシップのもとに、地域人材を活用しながら地域と一体となった教育・スポーツ・文化の振興を進めていきたいと考えています。

東川町には、写真文化・大雪山文化・木工芸など固有の文化を擁しています。これらを活かし、「共和・共生・共栄」の視点に立ち、世界に開かれた「日本一の子育て・教育の町づくり」を進めていきたいと考えています。

【GIGAスクールネットワーク構想】(注1)
2019年12月に文部科学省が打ち出した「児童生徒一人1台端末、及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想」

【SC】【SSW】【ST】(注2)
【SC】：スクール・カウンセラー。教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家のこと。
【SSW】：スクール・ソーシャル・ワーカー。子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所や関係機関と連携し学校や教員を支援する福祉の専門家。
【ST】：言語聴覚士。「話す」「聞く」「食べる」といった機能に課題を抱える人に対して、専門的な評価やリハビリなどを行うことにより、社会復帰や自分らしい生活ができるよう支援する専門家。

基本方針

東川町では、学校・家庭・地域の連携・協働した仕組みの下で多様な教育資源を活用し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指しています。このため、令和2年度においては、基本方針を「ふるさとを愛し、多様性を認め合い、世界とつながり挑戦していくことができる人材の育成」とし、次の3つの重点施策について取り組みます。

重点施策

① ふるさと教育の推進

本町には、美しく豊かな自然、昔から受け継がれてきた固有の歴史や文化、これらを受け継ぐ人材が豊富です。このため、これらの地域資源を有効に活用し、自然・地理・歴史・文化・産業・先賢に関することなどについて学習を深めることにより、ふるさとへの愛着や誇りをさらに高め、地域を支える次世代の人材育成を図っていきます。

② 学力向上対策の推進

本町で生まれ育った全ての子どもたちが、健やかに夢を育むことができるよう、小学校低学年からの学習のつまづきを把握し、個に応じたきめ細かな指導を進めていきます。
「授業についていけない子を一人もつくらぬ」という信念のもと、子どもたち全員の基礎学力を保障し、将来の選択肢を広げることができるよう、学校、家庭、地域、行政が一体となった学力向上の取り組みを進めます。

③ 国際教育の推進

平成29年度に文部科学省の指定(4年間)を受けた「国際教育に係る研究開発学校」の取組は、文化や価値観などの異なる人々とよりよい人間関係を構築できる資質・能力の育成に重点をおき、幼・小・中・高を通して、東川町の地域資源を最大限に活用した国際教育を推進しています。
本町の取組は、幼小中高までの長期にわたる学びの積み重ねであることから、各校種間の接続の系統性を確保することが必要であり、また、研究成果を得るまでには相当の期間が必要です。
このため、研究延長の取組を進めると共に、子どもたちが新教科「グローブ(Globe)」で学んだ能力を実践の場で活用できるように住外国人や日本語留学生、海外から訪れる生徒と交流するなど体験を充実させます。
また、本年は指定の最終年であることから、10月には、「ローカル」、「グローバル」、「コミュニケーション」で構成される新教科『グローブ(Globe)』の実践研究成果を全国の教員や教育関係者等を対象に発表する「研究開発学校研究発表会(研究協議会)」を開催します。



《令和2年度主要(新規・重点事業)施策》

① 就学前教育(幼児教育・乳幼児保育)の推進

[担当:子ども未来課]

事業名等	内容等
幼児期に育みたい資質・能力の育成	新たな「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」等が要請する資質・能力の育成のため、遊びを通しての総合的な指導により、小学校への円滑な接続に努める。
異文化交流や英語活動など国際教育の推進	ALT、CIR、SEAなど町内在住外国人の協力を得ながら、就学前の児童を対象に楽しく外国文化や英語でのコミュニケーションを学ぶ「新教科グローブ」を実施。
絵本の読み聞かせの充実	学生・地域ボランティアなどによる絵本の読み聞かせや、園内で子どもが絵本を手に取りやすい環境整備を行い、家庭での読み聞かせの推進を図る。
教育・保育環境の充実	短時間型預かり保育事業の一部無償化、園内組織体制の充実、保育士確保のため職員待遇の改善、地域おこし協力隊・子育て支援員の活用などにより教育・保育環境の充実を図る。
小規模保育事業所、他市町村との保育サービスの連携	保育サービスの充実のため、町内小規模保育所や町内外の保育サービスを実施する事業所との連携を図る。
地域子育て環境の充実	子育て支援センターの開設時間延長、一時預かり事業の体制強化、子どもの遊び場整備などにより地域の子育て環境の充実を図る。